

学科名		学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 情報処理システム科		2	気象観測	
授業の種類		授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習		中西 秀夫	☒ 有 ☐ 無	
[実務経験歴]				
民間の気象会社で予報業務を23年担当。 企業向けの防災セミナーを担当。				
単位数（授業の回数）		時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）		60 時間	☐ 前期 ☐ 後期 ☒ 通年	☐ 必修 ☒ 選択
[授業の目的・ねらい]				
予報のもとになる気象観測の種類と原理を理解する。				
[授業全体の内容の概要]				
①地上気象観測 ②高層気象観測 ③気象衛星観測 ④気象レーダー観測				
[授業終了時の達成課題(到達目標)]				
予報に必要な気象観測の知識を身につける。				
[準備学習の具体的な内容]				
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。				
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]		
使用テキスト プリント教材(日本コンピュータ専門学校) 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。		
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1回	地上気象観測①			
2回	地上気象観測②			
3回	地上気象観測③			
4回	海上気象観測			
5回	航空気象観測			

6回	高層気象観測①
7回	高層気象観測②
8回	まとめと振り返り
9回	気象衛星観測①
10回	気象衛星観測②
11回	気象衛星観測③
12回	気象衛星観測④
13回	気象衛星観測⑤
14回	気象衛星観測⑥
15回	まとめと振り返り
16回	気象レーダー観測①
17回	気象レーダー観測②
18回	気象レーダー観測③
19回	気象レーダー観測④
20回	気象レーダー観測⑤
21回	気象レーダー観測⑥
22回	まとめと振り返り
23回	地上気象観測記号の読み取り実習
24回	海上気象観測データの読み取り実習
25回	高層気象観測データの読み取り実習
26回	気象衛星観測データの読み取り実習
27回	気象レーダー観測データの読み取り実習①
28回	気象レーダー観測データの読み取り実習②
29回	気象レーダー観測データの読み取り実習③
30回	まとめと振り返り